

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
416 安全・安心農業推進事業（安心・安全の農産物づくりのための試験研究、学童農園・体験農園実施等支援）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	3	農林業の振興
基本方針	3	6次産業化や食育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		農林水産業費
	項		農業費
	目		農業振興費
	大事業		農業振興事業
	事項		安心・安全農業推進事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	農林水産課	山本 康造(435-1049)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	地産地消推進（学校給食、企業食堂への使用、飲食店）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	安全・安心の農産物づくりを推進するとともに、農業体験機会の増加に関する支援を行う。	農業振興を図るため、環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金 ・農業共済加入促進事業補助金（果樹共済加入促進）	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。 ・農業振興補助金 ・特定農産物振興補助金 ・農業共済加入促進事業補助金（果樹共済加入促進）	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。	環境に配慮した安全・安心な農作物や学童農園等の実施などの奨励。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	1,778	2,490	2,729	2,650	2,693		2,693		2,693		
	伸び率 (%)	-	-	53.5%		-1.3%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	3,008	1,951	1,951	2,330	1,951		1,951		1,951	
		非常勤職員	149	70	70	70	70		70		70	
		小計	3,157	2,021	2,021	2,400	2,021		2,021		2,021	
	国庫支出金											
	県支出金				60							
	市債											
その他												
一般財源（税等）	1,778	2,490	2,729	2,590	2,693		2,693		2,693			
所要人数	常勤職員	0.41	0.26	0.26	0.31	0.26		0.26		0.26		
	非常勤職員	0.09	0.05	0.05	0.05	0.05		0.05		0.05		
主な予算内訳		農業振興補助金 578,000円 特定農産物振興補助金 1,000,000円 農業共済加入促進事業補助金 963,000円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	学童農園等実施箇所数				年度目標値	20	20	20	20
					実績値	65	69		
	単位	箇所	全体目標値	20	全体目標達成度	325.0%	345.0%		
	特別栽培米作付面積				年度目標値	15	15	15	15
					実績値	15	16		
	単位	ha	全体目標値	15	全体目標達成度	100.0%	106.7%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	消費者の関心の高い安全・安心の農産物の栽培普及の促進（和歌山県特別栽培農産物認証）や子供たちに農業体験（稲作、サツマイモ等の野菜栽培）等による農業の役割や食料生産の大切さを、料理教室を通じて食の大切さを理解していくためには重要です。
「見直し」 「改善」案	